

# 上野原縄文の森 だより

UENOHARA JOMON NO MORI

2005.10

vol. 9



夏休み縄文キャンプ対

## コラム テーマ 「自らを守る知恵」

昨年に比較して今年の台風発生件数は少なく、喜ばしく思っていた矢先に台風14号の直撃を受けました。アメリカのハリケーン“カトリーナ”ほどではありませんでしたが強大な暴風圏とたっぷりの雨にののろ進路で日本列島に多くの被害を与えました。台風だけでなく大地震、大火災、集中豪雨など世界のあちこちで災害が発生しています。自分達の住んでいる地域でも危険がいっぱいです。

上野原縄文の森では開園以来、企画展を実施しておりますが、今回は災害に焦点をあて、第13回企画展「火山と地震と洪水と～災害考古学展～」をテーマに10月8日から開催いたします。開催期間中に講演会も実施いたします。

我々の先祖である古代の人々も、縄文時代初期に定住化するとともにこれまでの間、くり返して多くの災害に見舞われ、それを乗り越えて来たのだと思います。子供の頃は、台風の時は外に出るな、地震の時は竹藪に逃げろ、雨の時は川や崖下に行くな、風の通り道があるなどなどよく聞かされたものです。最近よく耳にするのが、大災害の後に『「想定外」のことでした』という言葉です。人智を尽くしてギブアップと聞こえますが、安易に使う言葉ではないように思います。

古代の人々は、自然に対する畏敬の念が強く、深く自然を観察し感覚も鋭く、自然ともよく調和して災害に対処してきたのではないのでしょうか。我々は本来、優れた感覚や観察力、高い技術力を持っていたのに、より便利な道具を発明することで失われてしまったのではないのでしょうか。

台風情報一つにしても与えられるだけのものだけでなく、それぞれの地域の特異性や自らの観察や感覚をとおして判断することの大切さ、他人まかせでなく自分の身を守る知恵を必要としている時代でもあるように思います。

遺跡や過去の災害は多くの教訓を残してくれています。これらを参照することで現代の災害と向き合うことも大切な気がします。災害が『想定外』とならないことを祈るばかりです。

上野原縄文の森園長 内村 正弘

第13回企画展

# 火山と地震と洪水と ～災害考古学展～

平成17年10月8日(土)～平成18年1月29日(日)

## 遺跡に残された災害の痕跡

火山災害や地震、火災など災害の痕跡が見られる遺跡の紹介と、河川流域に位置する遺跡からみる洪水災害と人々の営みに迫りました。

また、災害を鎮めあるいは防ぐために、先人たちが行った祭祀などを文献や遺物から紹介します。



### 火山灰で埋もれた土器

開聞岳の噴火によって  
人々の生活は・・・  
指宿市橋牟礼川遺跡

地震によって  
大地が揺れる・・・  
始良町小倉畑遺跡



### 洪水を鎮めるために・・・

人々は土で作った人と  
馬を大地に捧げた・・・  
菱刈町同野遺跡

### 講演会

平成17年11月12日(土)  
13:30～15:00

講師：新東 晃一  
(県立理窟文化財センター次長)

於：展示館内多目的ルーム

## 三二体験

平安時代に開聞岳噴火で  
埋もれた木の葉を掘りだそう!

11月27日、12月11日、1月16日

13:00～15:00

体験学習館にて開催

各回定員20名(要電話申込)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

## 第12回企画展

### 上野原遺跡発掘20周年記念展

え!もう20年?!と思われた方も多いと思いますが、  
昭和61年に発掘が始まってから、上野原遺跡は  
20周年を迎えました。



今回、来館者の皆様から一番注目を集めたのが、縄文時代中期の「おとし穴」です。おとし穴の断面の剥ぎ取りで実物の資料です。深さなんと2m80cm!このようなおとし穴が2列に並んで、約90基みつかりました。どんな獲物が捕らえられていたのでしょうか。

### 講演会開催

上野原遺跡の発掘調査に4年間携わっていた上野原縄文の森  
富田事業課長からは、発掘の裏話も・・・。会場は笑いと驚きに包まれていました。



## 森の逸品

この軽石製石棺は古墳時代のもので、旧高山町上ノ原地下式横穴墓から見つかりました。

大きな軽石を板状に加工し、箱型に組み合わせた棺で、志布志湾沿岸のみで見られるものです。内壁には、赤い色が塗られており、人骨は残っていなかったものの被葬者のものと考えられる歯が残っていました。

また、一緒に鉄製の小刀や土器が納められていました。

古墳時代の石棺には、家の形をしたもの(家形石棺)、船の形をしたもの(舟形石棺)、竹を割ったような形のもの(割竹形石棺)などさまざまな形があります。

### ⑦軽石製石棺



肝付町上ノ原地下式横穴墓

# TOPICS 上半期

17. 4月～9月

## 入園者40万人突破!

5月4日(水)、縄文の森「春まつり」開催中に入園者40万人を突破しました。幸運の40万人目となったのは佐賀県から観光で訪れた中学2年生の北吉君。北吉君のほか前後の方にも職員手作りの縄文土器のレプリカを贈呈しました。



## 縄文の森「春まつり」

5月3日から5日のゴールデンウィークの3日間にわたり、「春まつり」を開催しました。お楽しみ体験・民俗芸能・若者の音楽祭などが行われ3日間とも多くの人でにぎわいました。

10月22日・23日の秋まつりも遊びに来てね!



7月16日国分夏まつり総踊りに参加! たっぷりとPRしてきました。

## 霧島国際音楽祭 ミュージアムコンサート

8月3日(水)、第26回霧島音楽祭の出張コンサートが展示館ロビーで行われました。和紙ドームを背景に演奏家達が奏でる管楽器が館内全体に響きわたり、訪れた聴衆は穏やかな日差しの中、美しい音色にうっとり聞き入っていました。



## 国分南中生ボランティアガイド

7月30日から8月9日の間、地元の国分南中生のみなさんが園内のボランティアガイドとして活躍しました。ボランティアガイドは、今年で7回目となり、事前に選択社会で学習している生徒のみなさんは、訪れた見学者を相手にわかりやすい説明で案内し、頼もしい助っ人となってくれました。

## 電動カー寄贈

9月9日(金)、株式会社トヨタ車体研究所 谷口功二取締役社長(国分市上之段)らが訪れ、電動カー2台を寄贈されました。設立15周年と親会社であるトヨタ車体(株)の会社創立60周年の記念として贈られたものです。ありがとうございました。

電動カーは、高齢者や車いす等を必要とする方々が園内を見学される際に申し出ていただければいつでもご利用できます。



## 「体験学習の案内」

団体及び個人を対象に下記の内容にて体験学習を行っています。申込みの際に係の者にお申し出ください。

### 「火おこし体験」



←マイギリでの火おこし。  
モミギリ・コミギリでも体験できます。  
●時間/15～30分  
●料金/無料  
●備考/雨天不可

### 「アケセサリ作り体験」



滑石/200円  
メノウ/200円  
コハク/600円  
●時間/60～90分  
●備考/メノウ・コハクは団体では受け付けておりません。金額は材料代です。

### 「古代編み物体験」



←アンギン編みで壁掛け  
●料金/無料  
●備考/アンギン編み(20～60分)  
平編りでコースター(60分)、縄文フレスレット(30分)などもつくれます。

### 「土器作り体験」

※団体では受け付けておりません。



アロマボット(120分) 湯呑み(60分)  
縄文土器(120分) 皿(60分)  
●料金/無料 ●備考/他、お皿立て(10分)、箸置き(10分)などもつくれます。

### 「縄文料理体験」



←運内土坑でくわ製(60～90分)  
他、篝火で石煎し料理(120～150分)、トンブリクッキー作り(180分、30名から受付)なども体験できます。  
●料金/無料(食材持込み)  
●備考/ご予約、雨天不可

### 「その他の体験」

縄文ウォークラリー(45～60分)/料金無料  
●見学エリアコース(45分) ●体験エリアコース(45分)  
●縄文の森コース(60分)

トンブリアート(30～60分)/料金無料  
トンブリをペインティングして置物等を作ります。  
※トンブリの敷に限りがあります。

弓矢作り体験(15分)/料金無料  
弓矢遊び、弓矢作り

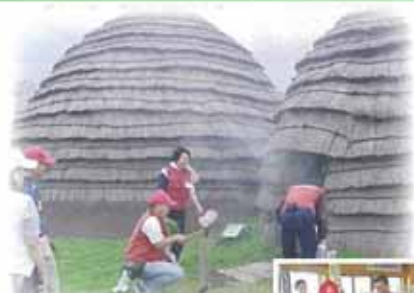


## どんぐり倶楽部 通信



高の志をいかに実現させるか? 楽しく学ぼう! どんぐり倶楽部  
活動内容: 縄文の森主催体験活動の指導補助、体験メニューの開発など  
活動日: 各台員による(当倶楽部より)  
申込方法: 規定の用紙に必要事項を記入して提出  
年台費: 個人台員 1名 1,000円  
家族台員 3名まで 2,000円  
詳しくは、どんぐり倶楽部事務局(縄文の森内) 0995-48-5701 までお問い合わせください。

実りの秋を迎えました。上野原でしかできない体験、上野原だからこそできる体験を大切にしながらも地域の良さを伝統を活かしながら「どんぐり倶楽部」は、体験活動の支援を行っています。今年度は、活動のひとつとして復元住居の重葺きを行っています。住居内で火をおこし、周辺の草刈りも兼ねて刈った草を火にかがせて燻干作業です。住居の防虫や腐朽防止、また重葺きしながらお客様と語り、上野原縄文の森をアピールできればと思っています。「どんぐり倶楽部」は、これからふれあいを大切にしながら、みなさんの思い出づくりをお手伝いします。上野原縄文の森支援会の会長 植村 春人



▲竪穴住居の燻蒸



8/24 どんぐり倶楽部主催事業「こま作り」

今年度から名称を新たにした1日体験の1日縄文人体験と一泊二日体験の夏休み縄文キャンプ村  
これまでに行いました1日縄文人体験・夏休み縄文キャンプ村を紹介します。

## 第1回 Spring 縄文クッキング 5/21

新緑が目にしめる自然の中、今年度最初の回は縄文料理をはじめ春の野草料理、おかし作りを体験しました。メニューごとに各班に分かれ、時間がたつとともにそれぞれの料理のおいしそうな薫りが漂っていました。家庭でつくる料理とは違った自然の中での縄文クッキングを楽しんでいました。もちろん、お味もよろしかったことでしょう・・・



野草料理



「試食会」・・・おいしいね!



## 第2回 縄文の音を奏でよう 6/18

この回は、粘土と竹を使って古代の楽器やアジアの民族楽器づくりを体験しました。粘土では土笛や鳩笛づくりを、竹ではさざ波の音、ト・ルン(ベトナム)、魚鼓(中国)という楽器を作りました。参加した皆さんのほとんどが、楽器の手作りは初体験だったようです。うまく音を出すのに苦労していましたが、できあがった楽器から聞こえる音色に満足した様子でした。



完成間近



演奏中・・・すばらしい音色!



### 今後の日程

参加者募集

- 第3回 11月19日(土)「木の葉や葉っぱを使って」
- 第4回 12月17日(土)「クリスマスアートと正月飾り」
- 第5回 1月7日(土)「大空に夢をのせて」

## 第1回 7/23~24

「カブトムシ相撲大会」「竪穴住居宿泊体験」「縄文料理をつくろう」

待ちに待った夏休み早々の第1回のテーマは今も昔も人気物の「カブトムシ」。カブトムシ探しに始まり、カブトムシの木登り大会・すもう大会などが行われ、参加した子どもも大人も大はしゃぎでした。夜は肝だめし大会も行われ、楽しさ、ドキドキありの1日となりました。竪穴住居でぐっすり眠れたことでしょう・・・



肝だめし  
「あれ?誰が覗いてる!」



白熱!「カブトムシ相撲大会」

## 第2回 8/6~7

「森の探検・クワガタムシ採集」「竪穴住居宿泊体験」「縄文料理をつくろう」

夏休み半ばの第2回のテーマは「森の探検・クワガタムシ採集」。昼に土器づくりを体験した後に今回は、夜にキラキラと輝く星を観測しながら広い森の中へクワガタムシを見つけに出ました。時間も忘れるくらい夢中になって探しました。なかなか見つけることが出来ず残念でしたが、みんなの顔には満足気な表情がうかんでいました。



「土器づくり」



「クワガタムシ採集」



「竪穴住居宿泊」

第3回 「縄文の生活具づくり」「竪穴住居宿泊体験」  
「縄文料理をつくろう」は8/20~21に行いました。



# 上野原縄文の森



期 日 10月22日(土)～10月23日(日) 各日10:00～16:00

場 所 縄文の森 祭りの広場

参 加 費 無料 (体験内容によっては材料費が必要になります。) ※ウォーキングは事前の申込みと参加保険料100円が必要です。

10月22日(土)

10月23日(日)

★ウォーキング in 上野原縄文の森  
(11:00スタート)

縄文服で記念撮影  
10:00～16:00

☆若者の音楽祭

22日(13:30～15:00) 23日(10:30～15:00)

☆縄文食を味わおう

22日 13:00～ 23日 11:30～、14:30～

☆縄文の名工になろう

- ・土器作り(湯呑み作り等)・石器作り(石斧作り等)・火おこし
- ・編み物作り(アンギン・平織り等)・アサギ作り(滑石・メノウで勾玉作り等)
- ・弓矢作り・何ができるかな?体験コーナー(アートバルーン他)
- ・バターナイフ作り(22日のみ)・ヒースで小物作り(23日のみ)

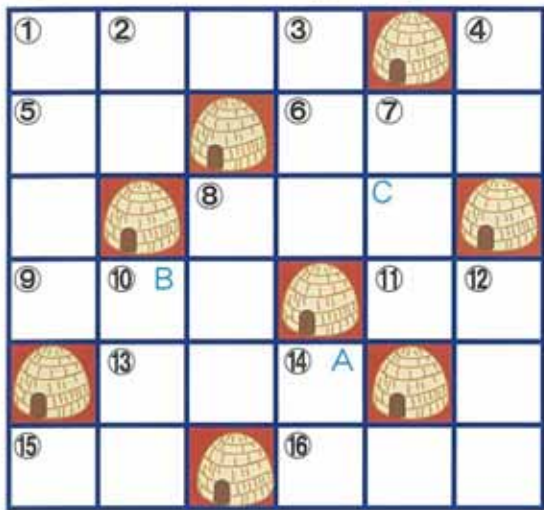
☆わいわい縄文タウン  
縄文の出店でお買い物コーナー 10:30～15:00

☆ミニゲーム大会  
13:00～14:30

☆フリーマーケット  
10:30～15:00

☆みんなでお木舟作りに挑戦しよう

# じもんのすわど



## タテのカギ

- ①古代の装身具。三種の神器のひとつ。体験学習館で作れます。
- ②ほ乳類。森林に生息している小さな生き物で、ドングリの実が好物です。
- ③学校では、夏休みや冬休みになる前に〇〇〇試験がありますね。
- ④秋に実がなります。でもイガがあつてとるのが大変です。
- ⑦〇〇〇団子。〇〇〇草。
- ⑧案内人
- ⑩縄文時代よりも古いB〇〇〇時代。
- ⑫30歳のことを別の言い方で。
- ⑭縄文料理体験の人気メニュー、石蒸し〇〇、焼き〇〇もおいしいね！

## 正解者10名様に図書券をプレゼント！

※正解者が10名を超える場合は、厳正なる抽選を行います。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって変えさせていただきます。

A B Cの文字をつなげて答えて下さい。

## 応募要領

- ①はがきをご利用下さい。
- ②解答は右のようにお願いします。
- ③応募の締め切り  
平成17年11月12日（当日消印有効）
- ④送り先

〒899-4314  
鹿児島県国分市川内1376-1  
鹿児島県上野原縄文の森まで

年	住	〒	答 〇〇〇
氏	名	所	
名	所		

## ヨコのカギ

- ①むかしの遊び。「♪あながったどこさ・・・♪」
- ⑤天然〇〇、メタン〇〇。
- ⑥秋になると各地で、収穫や豊穰を祝って行われます。
- ⑧縄文時代では石笛や土笛などで音を楽しんでいたのかも。
- ⑨磨いて作る〇〇〇石器。
- ⑪「S字文」や「渦巻文」がついた〇〇かざり。
- ⑬集まりや会合のことです。ともしびの〇〇〇。
- ⑮円筒型、角筒型、壺型などがあります。
- ⑯秋になると紅葉が美しいです。  
赤ちゃんの手みたい！

※前号の答えは、「コフン」でした。

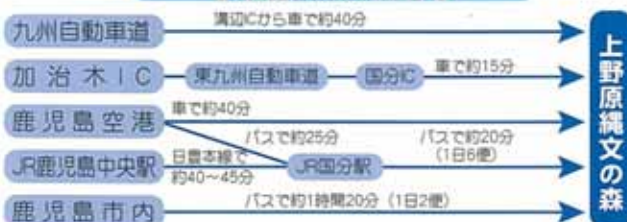


【開園時間】午前9時～午後5時（展示館入館は、午後4時30分まで）

【休園日】月曜日（休日の場合は翌日）  
（4月29日～5月5日は休日しない）  
12月30日～1月1日（年末年始）

【観覧料】（団体は20名以上）※展示館内の展示室・シアターのみの有料  
◆個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円  
◆団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円  
（県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として観覧するとき等は減免措置有り）

## 交通のご案内



## 【編集・発行】

財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森  
〒899-4314 鹿児島県国分市川内1376番地1 電話 (0995) 48-5701 FAX (0995) 48-5704  
URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail: [uenohara@jomon-no-mori.jp](mailto:uenohara@jomon-no-mori.jp)